

2023国際教養科 NEWS 6月

快挙！ 2年国際教養科 片桐菜々美さん
公益財団法人 日本中国友好協会主催第 16 回漢語橋世界中高生中国語コンテスト日本大会で全国第4位の優秀賞を獲得しました！



同コンテストは、年6月17日（土）、東京都中央区の浜離宮朝日小ホールで実施し、24人の応募者から音源審査で選抜されたファイナリストの9人が、中国語のスピーチや中国知識クイズ、中国文化芸能パフォーマンスで競いました。中国政府主催ともいえる大会でファイナリストとして最終選考に残り、優秀賞を得たことは特筆すべきことです。国際教養科の第2外国語学習の成果のなかでは、

昨年度卒業生の滝澤 燿君の、立命館大学主催の全国ジュニア高校生中国語スピーチ大会優勝に続き、大きな成果と言えます。

以下は片桐さんからの手記です。

私は6月17日土曜日に第16回漢語橋世界中高生中国語スピーチコンテスト日本大会に参加させて頂きました。

参加のきっかけは、孔子学堂の先生から勧められたからです。

このコンテストは、中国語学習の成果をアピールする大会として、世界中の中国語学習者の目標となっているそうです。また本大会優勝者は第16回「漢語橋」世界中高生中国語コンテストの出場者として推薦されます。

まず、録音審査による予選があり、今回は全国から24名の応募があったそうです。私は本校の講師の顧 淑鳳先生にスピーチ作成から発音まで何度も指導して頂きました。

決勝の本大会会場は浜離宮朝日ホール(東京、築地市場近く)でした。

当日は音源審査で選抜された9人が、中国語のスピーチや中国知識クイズ、中国文化芸能パフォーマンスで競います。

後援が中華人民共和国駐日本大使館教育処ということもあり、開会あいさつは中国大使館教育処の陳麗萍参事官、審査員は王安先生、胡興智先生、続三義先生の3名でした。とても緊張しました。

出場選手は横浜山手中華学園の生徒など中国とゆかりが深い学校の方もいて、本当にハイレベルでした。自分がこの大会に光栄にも参加させて頂くことができ嬉しかったです。

私はスピーチ部門で、今年の3月に行ったマレーシアでの語学研修について話しました。コウ先生に文章の構成、発音、イントネーションなどをチェックしてもらいました。

発表の後に審査員の先生から、自分の発表について中国語で簡単な質疑応答がありました。質問を聞き取れるか心配でしたが何とかできました。

中国語クイズは事前に本部から模擬問題をもらい勉強していききました。問題は3択でグループ4～5人1組で解答しました。(兵馬俑の都市名、会話の内容把握、西遊記について、1番長い川はどれか?)

中国芸術披露は中国舞踊を踊りました。コウ先生に事前にお勧めの動画を送ってもらい練習しました。他の選手の演技が京劇、中国武術など素晴らしかったです。

結果は4位の優秀賞でした。出場出来たことが幸運でしたし、何より中国の方の温かい人柄に触れ感激しました。全国の他の選手とも仲好くなり、楽しく過ごしました。皆さんの衣装も本格的だし、同じ世代が二胡演奏や京劇など中国文化に精通していて刺激をもらいました。以上です。



信毎 県販売従業員共済厚生会主催の「23年夏中学生・高校生アメリカ派遣に本校から2名選出！」

また片桐さんと本校普通科2年の小幡美遥さんの2名は、信濃毎日新聞を扱う販売店でつくる一般社団法人長野県新聞販売従業員共済厚生会主催の、2023年夏中学生・高校生記者アメリカ派遣団(20名)にも選出されました。取材地は首都ワシントンとニューヨーク。連邦議会議事堂や国連本部などを訪れる他、現地の同世代との交流会も予定されています。

中国、アメリカと活動の場を広げる両名の今後の活躍が大いに期待されています。